



イランとロシア、中国

令和8年3月3日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

世界の枢軸は自由主義陣営の模索する世界と未来である。しかし、その背後には思惑が存在し、世界の所有と未来の実現を求めるものである。

世界の新たな枠組みは、計画に準じ求められるものであり、これら3国の同盟体への戦争は必ず予測できるものである。

これら自由主義陣営の背後にはそれら勢力が存在するものであり、彼らの思惑を行うことが自由主義陣営の現実であることは理解できるのである。

但し、これら自由主義陣営がこれら戦争に勝利するとき、彼らは世界の統一や新たな世界政府の樹立を求めることは予測できるものである。

これらが我々に未来を与えることは残念ながら存在しないはずである。

これら理解は新たな判断を世界に対して要求するものであり、それらが我々に与えられた未来への唯一の選択であることは正しいのである。

それら視点と理解において新たな現実の模索することは、未来へのかすかな光であり、それが唯一の未来への選択かも知れないのである。

新たな世界ビジョンは、その対話と現実の双方において求められるものであり、新たな現実の育成は、未来というかすかな可能性であるものである。

これら選択は現実の模索を得るものであり、世界という強大な所有者に対して、それら革命的な現実を求めることは不可避の選択かもしれないのである。

革命という言葉は今日空虚でないものであり、それらは大衆がそれら現実に反して、新たな未来を求めるものである。